

2025年度事業報告書

I 概況

1. 来館者

2025年度は長嶋茂雄氏の逝去という悲しい出来事もありましたが、日本のプロ野球、アマチュア野球はもちろんのこと、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手、山本由伸選手の大活躍などもあり、野球界は大いに盛り上がりました。また、イチロー氏が日米同時に野球殿堂入りしたことは大きなニュースになりました。

さて、当館の活動ですが、大リーグで活躍した日本人選手に関する展示、長嶋氏の追悼展示、東京六大学野球連盟100周年を記念した展示などの開催や、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校2025」ではNPB野球規則委員の友寄正人氏によるトークイベント、小学生向けの「野球で自由研究！」でのイベント各種を開催するなど、野球の普及・振興に努めました。

3月のWBC開催期間中も多くのお客様にご来館いただき、来館者数は予算目標の11万人を上回る126,918人となりました。

2. 維持会員

維持会員は、法人68社（前年比1社増）、個人215人（前年比14人増）、ジュニア8人（前年比1人増）となりました。野球殿堂入り通知式への現地での出席などのサービスを拡充し、引き続きファン拡大に努めて参ります。

3. 野球殿堂

競技者表彰の岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、特別表彰の富澤宏哉氏の表彰式は、7月23日京セラドーム大阪で開催されたプロ野球オールスターゲーム第1戦の試合開始前に行いました。また、競技者表彰のイチロー氏の表彰式は、8月31日にバンテリンドームナゴヤで開催された高校野球女子選抜対イチロー選抜 KOBE CHIBEN の試合終了後に行いました。

2026年の野球殿堂入りですが、第66回競技者表彰委員会から栗山英樹氏が選出されました。なお、特別表彰は該当者なしでした。

これにより、野球殿堂入り顕彰者は、競技者表彰108名、特別表彰115名で合計223名となりました。

4. 普及・広報活動

当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力して広報に努めました。また、当館の認知度を高めるため紹介映像を制作し、東京ドームシティやスタジアムなどで放映いたしました。今年度も全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)主催の全国少年少女野球教室に、当館のパンフレットを9,000部提供するなど、開催に協力いたしました。

5. 館外活動

球界関係、地方公共団体や類縁機関などが主催の展覧会やイベントに際し、資料の貸出に加え、企画の相談にも対応するなど積極的に協力し、野球振興を推進しました。

アメリカ野球殿堂博物館が5年に渡り開催している日米野球交流に関する展示へ協力し、友好関係の強化に努めています。

女子野球タウンサミット、長嶋茂雄氏お別れの会、プロ野球ドラフト会議等への展示協力を行い、合計18件の貸出を行いました。

6. 資料収集

資料収集に際しては、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」（原則、毎月1回開催）において協議し決定しております。

- ① 収集資料：290点(前年845点)
- ② 収集図書：870冊(前年1,370冊)

7. その他

・昨年度よりクレジットカード決済を導入しておりますが、当年度はQRコード決済も利用できるようになり、お客様の利便性を高めました。

・スポーツ資料を保有する団体同士のネットワークを形成するための日本スポーツネットワークが発足し、これに参加いたしました。

・アメリカの野球殿堂博物館より、日米野球の交流展示のレセプション及び野球殿堂入りセレモニーへの招待状が届き、館長と司書・茅根が出席いたしました。

・電話業務の効率化を推進するために、DXでんわの自動音声応答システムを新規導入しました。

・2027年末までに廃止となる一般照明用蛍光灯ランプを、広範囲でLED照明器具に交換いたしました。

・東京都教育委員会に登録博物館の申請を行い、3月31日に承認されました。